

一般社団法人群馬建築構造設計事務所協会 GSAS

## 「令和7年度 第16回通常総会、講演会および懇親会」報告

令和7年6月

GSAS 会長 山口幸治

GSAS 事業技術委員会

担当副会長 萩原太一

委員長 伊佐俊明

6月6日(金)、ホテルメトロポリタン高崎において、令和7年度第16回通常総会が、会員23名の参加（委任状17名）にて開催され、総会は円滑に進行し、予算・事業計画が承認されました。

また、理事改選が行われ引き続き山口会長のもとで事業運営にあたることとなりました。

総会後には、東京科学大学 総合研究院の吉敷祥一教授をお迎えし『鉄骨造建物の損傷評価法と2024能登半島地震における被害状況』と題した講演会が、会場受講者64名オンライン受講者23名の合計87名の参加で開催されました。一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会（FASA）の後援を受け、全国の各地域会からも、多くの皆様に参加いただきました。

被災度判定区分や応急危険度判定における評価について、2024能登半島沖地震の被害状況に照らして解説をいただきました。構造躯体や上部構造が健全でも、二次部材の損傷や基礎地盤の影響で傾斜した建物が解体された実例もご紹介いただき、改めて注意を払い検討することの重要性を認識した講演となりました。

講演会後の懇親会では、多くの来賓の方々にもご出席いただき、総勢83名にて懇親を深めた有意義なものとなりました。

